連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

自治体名	石川県七尾市②
自治体の概要 主な特色 PR ポイント	当市は、能登半島の中央に位置し、令和７年２月末時点での人口は約４万６千人で、面積は約 318 ㎢、古くから能登の中核都市として栄えてきた街です。 開湯 1200 年の和倉温泉を中心とした観光業が基幹産業となっています。 また、製造品出荷額では、①食料品、②電子部品、③木材・木製品が上位となっているほか、富山湾での定置網などによる漁業も盛んです。 基幹産業である観光においては、「青柏祭」「石崎奉燈祭」「能登島向田の火祭」「お熊甲祭」など、年間を通して、祭りやイベントが開催されています。その他様々な自然やグルメ等があります。 【観　光】能登食祭市場、能登演劇堂、のとじま臨海公園水族館など 【フード】いきいき七尾魚、能登カキ、浜焼きなど 【祭り等】モントレージャズフェスティバル in 能登、七尾港まつりなど 七尾市公式 YouTube チャンネル　PR 動画
アクセス方法 （参考経路）	【東京駅】－北陸新幹線－（約２時間半）－【金沢駅】－JR 七尾線「特急能登かがり火」（約１時間）－【七尾駅】※現地ではレンタカーを使用
主な地域課題	・中心市街地では、空き店舗や空き家が増えてきており、商店街を利用する人も減少してきている。 ・それに加えて令和６年能登半島地震により中心市街地では公費解体などによる空き地も増えてきている。 ・中心市街地だけでなく、市内全域でも空き地等が増えてきている。 ・市では、移住定住にも取り組んでおり、周辺市町と協議会を設置して、移住定住の取組みを実施しているが、なかなか移住者が増えない状況にある。 ・移住・定住者だけでなく、復興に携わる人やボランティアなどの「関係人口」の増加にも取り組んでいます。
受入時期	～令和７年 12 月

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

<table>
<tr><td>ワーケーションプログラム内容

右記のプログラムから、泊数に応じてご希望の内容を組み合わせて実施していただきます。</td><td>七尾市中島町鉈打地区でのワーケーション
①～③は原則として必須です。

① 農業者及び農業団体との交流会
農地での活動後、農業者や地元の方との交流会を行います。
交流会を通じて、農村における課題を知り「食料供給等」に関して認識を深めていただきます。
また、当地域を知り、また人と人とのつながりを持つことで、交流人口の拡大のみならず、農産物におけるビジネスマッチングにつながればと思います。

② 体験プログラムについて（原則として体験料は無料です）
農業者が減少している当地域において、高齢農業者では重労働となる作業をお手伝いいただくとともに、食料供給の現状を知っていただきます。
５月：田植え等の体験、
６月：麦の収穫、大豆の播種の体験
７月：そばの播種体験
９月：稲刈り、乾燥調製の体験
秋祭り体験
１０月：大豆・そばの収穫体験、麦の播種体験
１～２月：味噌づくり体験

野菜（ネギ、かぼちゃ、春菊、中島菜等）
４～１０月：栽培体験、収穫管理体験、漬物づくり体験
※受入時期の中での体験となります。

③ 農村での宿泊
・原則、古民家を活用したゲストハウスに泊まっていただきます。
※なたうちで活動する場合、宿泊費は無料とし、寝具リース代のみ負担していただきます。
（季節によりますが、2,000円～2,500円/人）
・農村での生活を体験していただくため、食事は自炊となります。
※最も近いコンビニまで５㎞ほどあります。
※季節によりますが、当地で収穫された農産物を購入することも可能です。</td></tr>
<tr><td>主な対象事業者</td><td>農村地域への移住等を希望している事業者</td></tr>
<tr><td>受入上限数</td><td>１回につき３～７人</td></tr>
<tr><td>未就学児の子どもの受入</td><td>【可・不可】</td></tr>
</table>

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

事業者に期待すること	いろいろな方々が農山漁村を知り、その生活を体験することで、新しい「関わり」を創出したい。 併せて、都市住民の方々の、半農半Ｘや二拠点居住、ダブルワークなど、新しいライフＳＴＹＬＥを見つける「きっかけ」にしていきたい。 ・通い農と企業研修のマッチングにより、自給農への関心を持ち、体験を通して、企業の高付加価値化につなげる。また、これによる二拠点生活も期待したい。 ・都市とのニーズに応える多面的な収入源と農業人材を確保したい。 ・棚田等の条件不利地域の農地を「採算度外視」で守りながら営農を継続している現状について、都市住民の立場から農業や農村集落のあり方を構築する起爆剤にしていただきたい。 ・マーケティング人材の育成と確保につなげたい。 ・当地の農産物など特産品を取り扱ってもらいたい。 ・自社の研修先・保養先として検討してほしい。
留意事項	本プログラムの体験には、レンタカーが必要です。